

# 構成内容

業界動向・業務知識から融資審査・事業性評価のポイントまですべてがわかる構成内容

構成		主な記述事項
業種のポイント		業種の定義、市場のトレンド、事業性評価の着眼点
I 業種の理解	1. 業種の特徴	▶業種範囲の特定とその根拠、対象製品・サービス ▶業種の沿革・変遷 ▶市場の特性・特徴
	2. 市場規模	▶事業者数・従業員数 ▶生産量・消費量など直近マーケット規模 ▶代表的(規模、知名度)企業
	3. 地域的特徴	▶動向調査をもとに業界における地域分布(売上高・シェア中心に)の紹介・分析
II 業界の動向	1. 需給動向	▶生産量・出荷量・消費量等の時系列推移 ▶人口減少、高齢化、規制緩和等業種への影響が大きい環境の変化 ▶需給の価格への影響 ▶貿易動向(TPP11、米中貿易戦争の影響含む) ▶価格動向(2019年10月消費税引上げ実施時の影響含む) ▶着目すべき経営指標
	2. 海外展開	▶生産拠点、販売拠点、提携
	3. 課題と展望	▶最新トピックス ▶経営高度化、競合状況、業界動向等課題と展望 ▶業界の将来性
III 業務内容・特性	[製造業の場合] [卸・小売業の場合] [サービス業の場合]	▶製品の種類・特性、製造工程主要設備、流通経路 ▶商品の種類・特性、流通経路、販売形態(店舗・その他販売形態) ▶業務の種類・特性、サービス内容、取引・サービス形態(店舗・サービス提供チャンネル)
IV 業種分析のポイント	1. 取引形態と条件	▶仕入・在庫、受注～売上の流れ、生産方法 ▶販売方法、条件 ▶支払・回収条件
	2. 資金需要	▶運転資金、設備資金、決算資金、季節資金などの特徴 ▶資金使途と返済能力 ▶業界特有の担保・返済財源
V 財務諸表の見方	1. 決算書・財務状況の見方	▶収益性、安全性、成長性など過去3年間の経営指標から読み取れる特徴 ▶営業力・人材面等、計数データ以外の見方 ▶業界上位企業の経営データ(売上高・シェア中心に)の紹介・分析 ▶過去倒産企業からみた考察 (追跡データ、倒産兆候の捉え方、財務データの特徴)
	2. キャッシュフロー分析	▶業種による売上総利益、キャッシュフローの特徴(収支ズレ)等
VI 事業性評価および取引推進上のポイント	1. 経営改善・収益向上のポイント	▶経営者に広く共通する悩み (需要、低収益性、仕入れ条件、販路、人手不足、後継者難、海外ノウハウの欠如…) ▶業種の現在の強み、成長余地 ▶経営改善支援のポイント
	2. 取引推進上のポイント	既取引先の取引深耕 ▶資金ニーズ ▶新たな需要創出に必要な観点 新規開拓 ▶(既存新規先の場合)商流や成長性、アプローチする時期に関する留意点等 ▶(新規開業先の場合)事業計画、資金計画
	3. 事業承継	▶事業承継計画 ▶M&A、承継先紹介
VII 関連法規制・制度融資等		▶業界特有の許認可・規制、関連法規等 ▶利用しうる金融助成措置・制度融資 ▶税制上の優遇措置および留意点 ▶法律・規制・制度の改正・緩和等の最新動向
VIII 業界団体		▶業界主要団体名、所在地、電話番号